

事務事業名	浸水対策整備事業整備費		所属部局	建設部	単位番号	T517				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	下水道課	課長名	野田 栄志				
			所属担当	工務担当	担当者名	河西 秀明				
基本政策	基本計画	III うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計 05	名称 下水	款 01	項 02	目 01	細目 003	細々目 03
政策	計画	14 上下水道の整備	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	体系	23 下水道等の整備								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成15 ~ 平成32 年度)		法令根拠	下水道法、都市計画法						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・公共下水道計画区域のうち、現時点では、社会資本総合整備交付金事業に位置づけられた楡形地区の公共下水道(雨水)認可計画区域約62.5haの整備を図る。			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)						
				委託料						
				計						
				0						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	河川協議及び工事着手
25年度活動実績	河川協議及び工事着手
26年度活動予定	河川協議及び工事着手
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	・社会資本整備総合交付金事業に位置づけられた公共下水道(雨水)計画区域内の市民・整備区域
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	・公共下水道(雨水)を整備し、浸水被害の軽減を図る。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	・浸水箇所の軽減を図り、市民が安心して快適に暮らせる生活環境を整備する。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 公共下水道(雨水)整備面積	ha
イ		
ウ		
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 下水道(雨水)計画処理区域の面積	ha
イ		
ウ		
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 下水道(雨水)が整備された計画区域の割合	%
イ		
ウ		
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 南アルプス市の水害に対する安心感についての満足度	%
イ		

年間トータルコスト		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	千円			0	25,000	10,000	11,000	100,000
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円	0		0	25,600	9,500	10,400	94,700
	その他一般財源	千円	0	3,496	0	1,400			
	事業費計(A)	千円	0	3,496	0	52,000	20,000	22,000	205,028
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	50	50	100	100	100	100	3,000
	人件費計(B)	千円	228	228	455	455	455	455	13,653
	(A)+(B)	千円	228	3,724	455	52,455	20,455	22,455	218,681
活動指標	ア	ha	0.0	0.0	0.5	0.5	0.5		
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	ha	62.5	62.5	62.5	62.5	62.5		62.5
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	12.3	12.3	13.1	13.9	14.7	15.5	100.0
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	54.2	59.8					
	イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	水路の氾濫等からくる浸水被害を軽減することを目的に、特に水路からの溢水が多く見られる桃園地区を重点に平成15年度より事業に着手した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	多額な事業費を要するため、現在社会資本整備総合交付金事業の中に位置づけ、平成19年度には同じ桃園地区の中で整備対象区域を拡大し、整備を行っている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特に従前より水路からの溢水が多く見られる幹線道路の対策が望まれている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	・効率的な整備が図れるよう計画区域内で競合する道路改良工事計画などと連携を取り、事業を進めている。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	・効率的な整備が図れるよう計画区域内で競合する道路改良工事計画などと連携を取り、今後も継続的に事業を進めて行く。

事務事業名	浸水対策整備事業整備費	所属部	建設部	所属課	下水道課
-------	-------------	-----	-----	-----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 この事業により、公共下水道事業の整備区域の拡大が図れ、快適な生活環境の創生並びに浸水被害の軽減など生活環境の改善につながっている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 快適な生活環境の創生と浸水被害の軽減などを目的に市民並びに通行者等を対象として実施している浸水対策事業であるため、妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 ・下水道整備することにより、水路からの溢水防除や浸水被害の軽減を図っている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 ・工事費に多額の費用がかかるため、競合する事業と連携を取る中で、効率的に事業を進めるよう心がけているが、厳しい財源状況であるため。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 公共下水道事業を計画的に進め、浸水被害の軽減が図れ比較的重大な浸水被害のおこっている区域の整備が完了すれば、一時休止できる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 ・公共下水道事業計画に基づき、計画を精査し事業を計画的に実施しており、事務事業費の削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 公共下水道事業計画に基づき、計画を精査しながら事業を計画的に進めている事務事業であり、公共下水道(汚水)事業と合わせて事業を実施しているため、現時点では事務事業を行うにあたり、余裕が無く人件費の削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 快適な生活環境の創生と浸水被害の軽減などを目的に市民並びに通行者等を対象として実施している浸水対策事業であるため、妥当である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・事業的には、浸水被害を軽減する為には必要な事業であるため継続する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ・特になし																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ・特になし	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					